



1 情報を守る技術者を育成

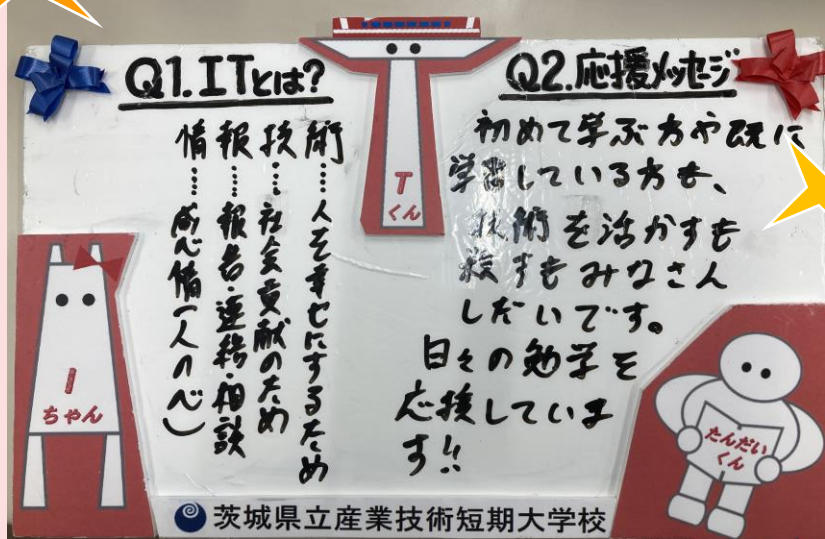
情報セキュリティー



辰野晴信 先生

10月からスタートした情報セキュリティー担当の辰野晴信先生から
①コースの特色や魅力 ②学生への期待 ③先生の好きな言葉 をお聞きしました。

- ① 情報を守るための手法を主に学習します。情報が溢れる現代に必要不可欠な情報セキュリティー技術を身に付けることができます。
- ② DX化の進展で、皆さんの活躍の場が広がっています。時代の波に乗るだけでなく、自身で流れを作るIT技術者になることを期待しています。
- ③ 「やらないで後悔するより、やって後悔した方が良い」迷って行動しないより、行動した方が、未来につながる経験になると思います。



朝礼の風景

3 新聞を読む学生

本校では、「専門力」に加えて「社会人基礎力」の向上のために、新聞スクラップを実施しています。今回は、「情報セキュリティー」の1年生の要約、感想をご紹介します。

＜記事＞ 日本経済新聞(2022年9月28日)
「再生エネ・原発総力戦で」

◇要約

●古佐原蒼彩さん(勝田工高卒)
ロシアのウクライナ侵攻で世界のエネルギー情勢は一変した。日本は脆弱性が露呈し、海外は将来必要な原発を逆算して対策に乗り出す。日本はエネルギー自給率を高め厳しい状況を商機に変える知恵が必要。

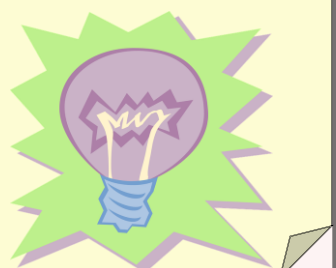
◇感想

●中熊柚香さん(水戸二高卒)
日本の原発が減っていることは知っていたが、世界規模で見ると増加しているのはあまり知らなかった。日本は原発による被害もあり脅威を十分に理解しているのに増設に踏み出せないのだと思う。代わりになるものを早く見つける必要がある。

●鈴木颯真さん(緑岡高卒)
現在の日本は、火力発電が一番使われているが、少しずつ再生可能エネルギーを主体としたほうが良いと思う。そうすれば、地球温暖化の防止になると思う。また、輸入に頼らなくて済むので良いと思った。

●山田彩乃さん(水戸啓明高卒)
地震で複数の発電所が止まり、電力不足に陥ったのは、東日本大震災直後の電力不足による計画停電を思い出す。その頃からほぼエネルギー資源供給のやり方が変わっていないから、再び電力不足を起こしたのではないか。

●清和杏羽さん(茨城東高卒)
日本のエネルギー問題は深刻化していると認識している。原発が稼働停止したことによって火力発電が主となり脱炭素への活動が危ぶまれている。自分たちでできる活動をしつつも政府は電力について良く検討して欲しい。



2 応援メッセージ!

県立水戸第一高等学校



高村祐一 校長

明治11年創立(平成30年度に140周年)の県内随一の歴史と伝統を有する高等学校です。3万6千人を超える卒業生が、政財界、司法・教育、医・科学・芸術など各界各層で活躍しています。高村祐一校長から「挑戦と失敗から学べ!」とメッセージを頂きました。

県立水戸高等特別支援学校



村山 亮 校長

本校に隣接した特別支援学校です。社会的・職業的自立に向けた教育により、働き続ける力を培い、社会に貢献する人材を育成しています。村山亮校長は「Be ambitious! 大志をもって自分の信じた道を突き進んでください」とメッセージを頂きました。

